

レセプトデータ等の分析と医療サービスの質の向上

基本的な考え方

- レセプトデータ等を全数把握することにより、抽出調査による推計ではない、より正確な疾病の状況、医療費の状況を把握できる。
- 個人を追跡することにより、対策の効果をよりの確に評価できる。

現状の課題と全数データを把握・追跡する効果

	レセプトデータの分析	健診・保健指導データの分析	突合分析
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○現在は社会医療診療行為別調査(抽出調査)により診療行為別の医療費などを推計しているが、本来は医療費の実態をより完全かつ正確に把握できることが必要。 ○地域別・年齢別の医療費を正確に把握できることが必要^{注)}。 ○制度改正に伴う医療費の変化について、個人を追跡した正確な評価ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現在は糖尿病実態調査等の抽出調査により生活習慣病の有病者・予備群等を推計しているが、今後は有病者・予備群の実態をより正確に把握することが必要。 ○糖尿病等の生活習慣病の新規発生数については、個人の追跡ができないため、把握できていない。 ○来年度からの特定保健指導の効果を評価するためには、特定保健指導の受診の有無等ごとに、翌年の健診結果の改善を評価する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診・保健指導等の対策が医療に及ぼす影響について、正確な評価ができない。

全数把握・追跡

注)一部のレセプトデータの分析では、医療費全体における課題が正確に把握できない

	レセプトデータの分析	健診・保健指導データの分析	突合分析
全数データ (※当面は電子データを把握・追跡する効果)	<ul style="list-style-type: none"> ○算定数の少ない行為も含め、医療費の実態を正確に把握することができる。 ○地域別、年齢別、診療内容別、男女別及び医療機関の種類別の医療費の状況を正確に把握することができる。 ○制度改正に伴う医療費の変化を正確に把握できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病の有病者・予備群の数、新規発生数を正確に把握することができる。 ○特定保健指導による生活習慣病の予防効果を正確に把握することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定保健指導による医療費の適正化効果を正確に把握することができる。

正確なエビデンスに基づき、効果的・効率的に対策を実施し、医療サービスの質を向上することができる